

平成26年度大学院科目等履修生
(学部・大学院一貫教育プログラム)
説明会 3月19日(水) 16時～17時,
経済学研究科棟・3階第3教室

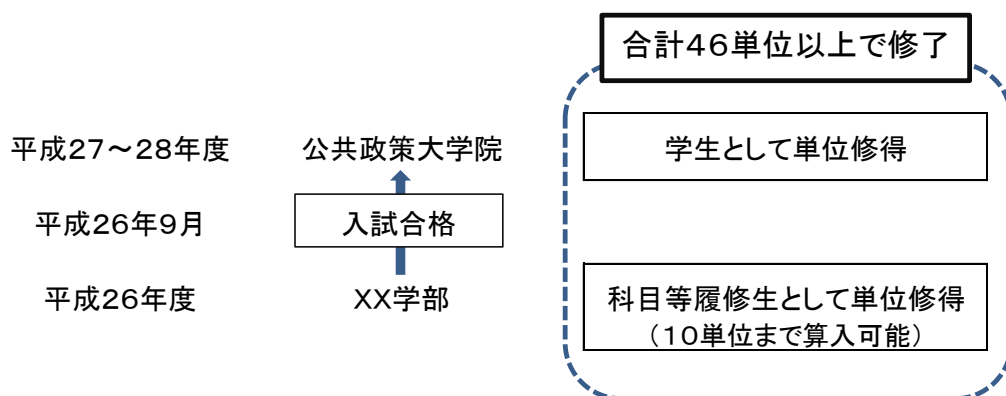
平成26年度より、本学の学部学生が科目等履修生として大学院の科目の単位を修得することができます。

公共政策大学院では、この制度を利用して、**公共政策大学院に進学を志望する学部在学学生(若干名)**に対して、**下記科目を科目等履修生として履修できるプログラムを始めます。**

Microeconomics, Practice Session for Microeconomics (夏学期・合計5単位)

Macroeconomics, Practice Session for Macroeconomics (夏学期・合計5単位)

これらの科目は経済政策コースの必修科目であり、その他の経済分野の授業科目に先だって履修すべき科目と位置づけられています。学部中級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学の知識があることが履修の前提となります。



※ 平成27年4月入学の場合のスケジュール
平成26年9月卒業・10月MPP/IPコース入学も可。

- ・ **科目等履修生として修得した単位は、10単位を上限として公共政策大学院の修了要件である46単位に算入することができます。**この制度のメリットは、大学院で修得する必要がある単位を減らすことで、在学時の学習の自由度が増すことです。例えば、修了要件を気にせずに海外留学での学習計画を建てられる、ダブルディグリー取得に必要な期間を短くできる、単位にならないインターンに従事することができる、などの活用方法が考えられます。
- ・ ただし、専門職学位課程の規定により、在学年限(2年)を短縮することはできません。
- ・ プログラム参加者は書類選考によります。
- ・ 公共政策大学院に進学するためには通常の大学院入試を受験し、合格する必要があります。
- ・ 書類選考で選ばれなくても、その後の通常の大学院入試を受験できます。入試で不利に扱われることはありません。
- ・ 4月入学だけでなく10月入学の国際プログラムコースに進学する学生も、このプログラムに参加できます。
- ・ 科目等履修生として修得した単位は、学部卒業に必要な単位に算入することはできません。